平成元年３月
第７号

姉妹都市協会ニュース

発行／中津川市姉妹都市
友好推進協会
中津川市かやの木町２－１
中津川市役所秘書広報課内
０５７３（66）－1111　内線307

伯国岐阜県人会創立五十周年
協会が慶祝使節団を派遣

昨年五月二十九日サンパウロに於いて開催されたブラジル岐阜県人会創立五十周年記念式典出席のため、杉本協会長以下七名が慶祝使節団として渡伯しました。この折、姉妹都市レジストロ市を親善訪問し、益々友好の絆を深めることができました。

今回の渡伯は、昭和六十二年十月在伯岐阜県人会渉外部長山田彦次氏が記念式典への招待状を手に来訪されたことに始まりました。

昭和六十三年五月二十九日午前十時からブラジル日本文化協会講堂において開催された式典には、杉本英夫協会長、鈴木嘉進協会理事をはじめ、市内から三尾義彦さん、太田亨さん、中田智洋さん、杉本美香さん鈴木律子さんの七名が民際外交を推進すべく出席されました。

岐阜県知事をはじめ多くの来賓を迎えて開催された式典場において、杉本協会長は小林市長からのメッセージ、そして市並びに協会からの祝品などの伝達をし、大変歓ばれました。

翌三十日使節団一行は姉妹都市レジストロ市を親善訪問しました。

カルヴァーリョ市長さんを表敬訪問した後、隅田弘日本人会長の案内で中津川公園、バナナ加工場、お茶工場、日本人会総合運動場等を視察したあと、盛大に開催された歓迎会に出席しました。短かい時間ではありましたが友好と親善を深め再会を約してレジストロ市を後にしました。

五月二十八日に出発した慶祝使節団は、大役を果し六月五日無事帰国されましたが僅か一週間という強行スケジュールにもかかわらず、友好親善に大きく寄与されました。

▶カルヴァーリョ市長（前列左から二人目）・隅田日本人会々長（最後列右端）とともに

六月十六日の帰国報告会において使節団の皆さんは、次のように述べられました。

「大変忙しい日程でしたが、多くの岐阜県出身者にお会いできて本当に有意義な渡伯となりました。式典では、当市から記念品を贈呈しましたが、市町村では岐阜市と当市だけであり、当市と伯国との友好の深さを感じました。レ市に於いては大変な歓迎をうけ、また市内各所を視察ののち厚い友情を胸に涙の込み上げる中、同市を後にしました」（杉本会長）「五年前に渡伯した時に比べて道路等とても整備されていた。また、次代の絆となるべき子供達（かつて当市へ来訪した）と夕食が共にでき、とても大切な時を過ごしました」（鈴木理事）「式典には知事他市長村等から七十名程出席されていたが、民間人はほとんどいなかった。レジストロ市では、庁舎が大変小さかったこと、そして日系人が行政主体であることを感じました。また、貧富の差も随分あるように思われました」（三尾団員）「大変遠い国でした。しかし、遠いが故に出合いの感動は非常に大きいものでした。やはり人的交流、ことに若い世代の交流をより積極的に推進すべきだと思った」（太田団員）「二十一世紀の国が見たいのと、かつてホームスティした子供達に逢うことを楽しみに行きましたが、伯国では子供達ばかりではなく親達も大勢集まってくれました。非常に感激するとともに、他の何ものにも変えがたい収穫があった。また、月収一万円程度で働く人が多いなど貧富の差が激しいことを強く感じた。そして、国づくりは人の気迫であることを感じました」（中田団員）

帰国報告会で述べられた感想のほんの一部を紹介しました。

その後六月六日には、伯国日語学校連合会々長下本八郎氏から杉本協会長あてにお礼の手紙が届きました。

その節は、協会の皆様と私達日語連合関係者はじめ貴市でお世話になった生徒達が大勢集まり、夕食会が開かれたことは大変有意義であったと一同喜んでいます。当時の使節団の生徒達も久しぶりで集まることができ、皆様方と懐かしい思い出話や歓談に時のたつのも忘れ本当に楽しい一時でした。貴市を訪問した当時はまだ幼かった子供達が、再会してみると逞しく成長しており、日本へ行ったことがとても良い経験になっていると思います。ブラジルに於ける日本語教育は、世界中の日本語熱の上昇とともに大きな進展をみせています。どうか本会の青少年訪日親善使等団には今後とも宜しくご支援ご指導をお願い申し上げます。

★ブラジル日本移民八十周年★
世界ゲートボール大会へ参加

我が国のブラジル移民の先駆者は、一九〇八年六月十八日にサントス港に上陸した第一回笠戸丸の七八六人であります。（現在ブラジルの日系人口は、概算八十万人といわれ約七十％がサンパウロ州に集中しています。）

昨年移民八十周年を迎え記念式典が開催されましたが、当市からもその式典並びにその記念行事としての世界ゲートボール大会に、五名の方々が参加されましたのでご紹介いたします。

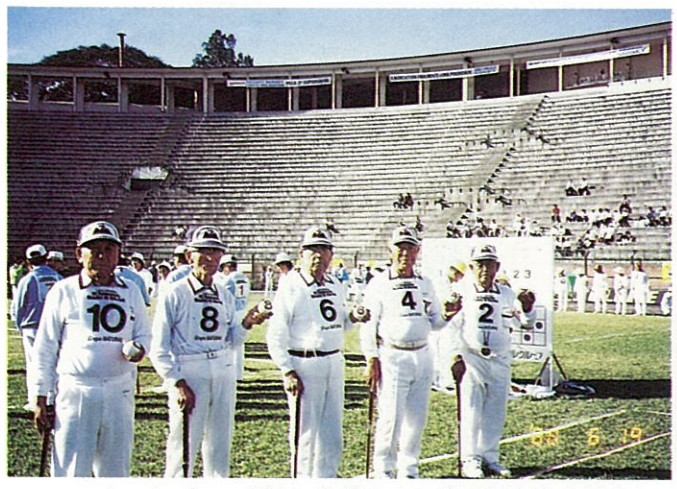
参加者は、土屋傅海さんを団長に、新田正一さん、樋田又八郎さん、山田貝一さん、武藤曠さんで、日頃鍛えた腕前を伯国で披露されました。

六月十三日当地を出発した皆さんは、早速レジストロ市を親善訪問し、土屋団長さんの文通友達の上野慶一さん宅に二日間泊めていただき、この間レ市ゲートボールチームと親善試合を重ね、益々の友好を深められました。

六月十七日レ市に別れを告げ、翌日開催された記念式典に参加されました。式典には、日本から多くの方々が出席され、大変盛大な歓迎をうけ、翌日は、ゲートボール大会に臨みました。二日間の大会に参加後、六月二十三日無事帰国されました。

七月七日の帰国報告会において、土屋団長さんは次のように述べられました。

レジストロ市では市をあげての大歓迎をうけ、涙のでる思いだった。歓迎昼食会、夕食会には市長さんはじめ多くの方々の出席をえて、盛大に開催していただいた。ことに市長さんとは来日された折、親しく語りあったこともあり、今回お逢いできたことにより、一層の親近感をもった。またレ市とのゲートボール大会では市長さんが見守るなか大変楽しい時を過ごした。記念式典は、蟻の入るすきまがないほどの人達の出席のもと厳かに開催された。なかでも人文字による心のこもった歓迎には、目頭を熱くした。また、世界ゲートボール大会では勝つことができなかったが、心の輪を広げることができた。二日間の競技を終え、全員が無事帰国することができ、この上ない喜びと、責任を果した充実感がありました。夢にみたブラジルへ渡ることができたことは、最大の喜びであり、一生涯忘れることができない。深い友好の絆を感じました。


いよいよプレーボール（パカエンブー競技場にて）

“ようこそ中津川へ”（ＪＲ中津川駅）

岐伯青年親善交流団来市

昨年七月十五日高橋好美団長をはじめとする岐伯青年親善交流団一行が当市を訪れました。

今回来日した方々は、高橋好美さん（サンパウロ市・家具店経営）山内和浩さん（モジダスクルーゼス市・農業）高井シルビヤ和江さん（ジャカレ市・教師）毛利スエリー綾子さん（グアリューリョス市・会社員）前田ミリアンさん（サンベルナードカンポス市・学生）の皆さんです。一行は、七月十一日来日後、県庁・岐阜市・関市・小坂町・高山市そして当市を表敬訪問され、その後県内の親戚宅にそれぞれ滞在され八月十七日帰国されました。当市での交流活動を紹介します。

七月十五日中津川駅へ到着した一行は早速市役所を訪れ、小林市長、酒井県議会議員、原市議会議長に来日のあいさつをされました。

続いて、姉妹都市協会主催の歓迎昼食会に出席され、昼食会では、杉本協会長の歓迎のあいさつを受け、交流団全員が快活な自己紹介をされました。中でも山内団員のユーモア溢れるお話には、出席者全員が親近感を覚え、大変意義深い昼食会になりました。

その後、夜明けの森にある「レジストロ公園」で記念植樹を行い、またの来訪を誓いながら、三菱電機中津川工場へとむかいました。

同工場では、桂川総務課長さんから工場全体の説明を受けた後、係員に工場内を案内していただきました。団員の皆さんは、ロボットによる製造過程等ほとんどの作業がコンピューターによることに、感嘆の声を上げていました。

市内見学を終え、同日夜は待望の市内青年たちとの交歓会に出席されました。

青年たちとの交歓会は、前回来訪された団員から「大変思い出に残る時を過ごした」と聞かされていることもあり、楽しみにしていた行事の一つであるとのことでした。（高橋団長談）

交歓会に出席した市内の青年たちは、ブラジルに親しむ講座の受講生と、かつて研修生として渡伯した方々六名が出席されました。

同夜は、朝から降り続いた雨も上がり、恒例の盆踊りが開催されたため、夕食を終えると早速駅前通りへと足を運ばれました。

団員の皆さんは、始めての盆踊りとあって、夜遅くまで楽しそうに踊り続けました。また、露店では種々買物をしたり、ゲームをするなど歓声をあげていました。翌朝、勝教育長等の見送るなかを、次の訪問地関市へむかわれました。

小池前市長に伯国最高勲章

伯国日本人移民八十年を記念して、ブラジル統合社会教育会総裁パスコアウ・サウソ氏から小池保前市長さんへブラジル政府公認の最高勲章グラン・クルスが贈られ、七月七日市長応接室において小林市長から伝達されました。

小池前市長さんの今回のご受章は、昭和五十五年の姉妹都市提携をはじめ、日伯両国民の友好親善を深められたご功績に対し与えられたものです。

推薦者は、サンパウロ新聞社水本会長さんほか日本移民八十年祭委員会、連邦下院議員等多くの方々で、八十年祭式典が挙行された六月十八日付をもって授与されました。

小池前市長さんは「今回の受章は全市民のご理解とご協力によりいただいたものであり、市民の皆さんが等しく受けるべきものと思っています。今回は代表者として有難くお受けいたします」と述べられました。

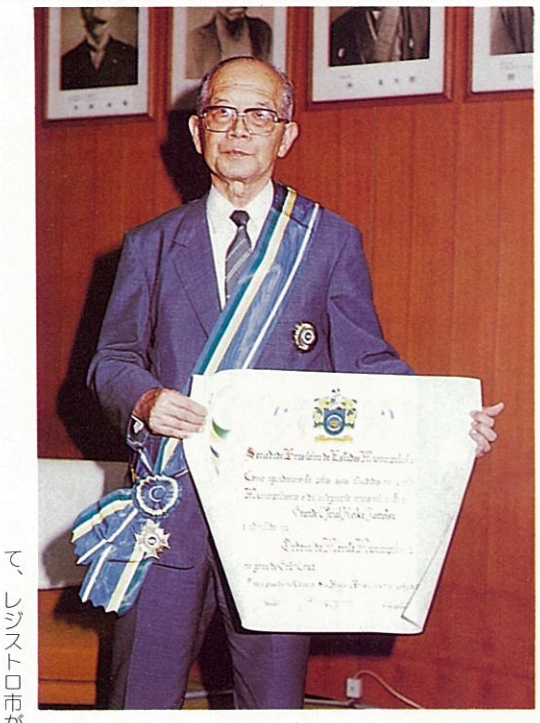
勲記は次のとおりです。

「あなたは市長の要職にあって　地域社会の発展向上に努められるかたわら　県出身移住者の生活の安定と事業の発展に意を注がれさらにサンパウロ州レジストロ市と姉妹都市の縁を結び　人的交流を深めて日伯両国民の友好親善関係を強化促進されました。

その功績誠に顕著なるを讃え　日本移民八十年祭を記念して　ブラジル政府公認の最高勲章グラン・クルスを贈り感謝の意を表します」

このように、小池前市長さんは人的交流を積極的に推進されましたが、その基本的なお考えは〝触れ合い〟を原点にという姉妹都市提携調印式でのごあいさつにあるように思われます。（前段略）「国際姉妹都市の目的はいうまでもなく、人物、文化、教育、経済、技術などの交流を通じて相互の理解と親善を深め、そのことが国と国との親善になり、ひいては世界平和に寄与しようとするものであります。わたくしどもは、市民同士が行う外交という意味から民際外交と申しております。……これからはこの国際親善の芽が市当局相互関係から、両市の各層の市民一人ひとりの交流にひろがり、美しい花がひらくことを期待するものであります。東洋の言葉に「君子の交わりは淡くして水の如し」ということがあります。両市の交わりが細く長く続き、こころのきづなが年とともに強くなることをこころから念願してやみません。」（後段略）

小池さんの功績に対しまして敬意を表するとともに、今回のご受章を心からお祝い申し上げます。



グラン・クルスを受章された
小池 保前市長さん

ヴァウディール新市長就任

姉妹都市友好推進協会参与、渡辺淳二氏から十一月二十四日のファックスで次のような連絡が入りました。

〝レジストロ市長選挙で、ヴァウディール・フェレイラ・デ・モラエス氏（四十二歳）が当選、その他、副市長にハセガワ・フェルナンド氏（前市会議長）日系二世の市会議員三名がそれぞれ当選、十一月二十一日隅田レジストロ日本人会長が、サンパウロの㈱ウニベルツールを来社され、上記の内容並びに次の情報をいただきました。

新市長は、一九八一年の姉妹都市派遣の一行に参加中津川市を訪れた経験があります。

日系二世の女性と結婚され、バナナ製品の工業化を実現され、今や日本・北米・ヨーロッパ（ドイツ）方面への輸出を大きくのばしている実業家、レジストロ市での農務長官の経歴もあります。

日本人会長の隅田さんは中津川市との姉妹都市推進には強力な体制ができたとて、レジストロ市が希望を以って政治、市民の為に働かねばならんと思って居ります。我々も全植民地挙げて応援してよりよき町づくりに頑張りたいと思います…。全国の市庁はインフレや大きな赤字で一・二年はやりにくいと思います…。今のところ日本へ旅行などとても考えられないとのことです。幸い、日本はどんどん世界で一番延びて大国になり、我々も肩身が広い思いです。新しい市長、市会議員（二人）がすでに姉妹都市の貴市を訪問して居り、理解が有り当方としても仕事がうまく行くと思って居ります。

終りにみなさんによろしく御伝へください。」

喜んでいました。

また、新年になって一月二日付で隅田さんから手紙が届きました。

「新しい年、希望の年を迎へて小林市長さんには御元気で政務に御精励の事と御喜び申し上げます。ブラジルでも、天皇陛下の御病気で新年祝賀は全日本人会でとり止めになりました。昨日は、各市長・市議の就任式が催されました。当レジストロ市では、日本人会館にて市長ヴァウディール・フェレイラ・デ・モラエス、副市長長谷川フェルナンド、市会議長に近岡健二……。本日から新しい人々によって、地域社会の発展向上に努められるかたわら　県出身移住者の生活の安定と事業の発展に意を注がれさらにサンパウロ州レジストロ市と姉妹都市の縁を結び　人的交流を深めて日伯両国民の友好親善関係を強化促進されました。

その功績誠に顕著なるを讃え　日本移民八十年祭を記念して　ブラジル政府公認の最高勲章グラン・クルスを贈り感謝の意を表します」

このように、小池前市長さんは人的交流を積極的に推進されましたが、その基本的なお考えは〝触れ合い〟を原点にという姉妹都市提携調印式でのごあいさつにあるように思われます。（前段略）「国際姉妹都市の目的はいうまでもなく、人物、文化、教育、経済、技術などの交流を通じて相互の理解と親善を深め、そのことが国と国との親善になり、ひいては世界平和に寄与しようとするものであります。わたくしどもは、市民同士が行う外交という意味から民際外交と申しております。……これからはこの国際親善の芽が市当局相互関係から、両市の各層の市民一人ひとりの交流にひろがり、美しい花がひらくことを期待するものであります。東洋の言葉に「君子の交わりは淡くして水の如し」ということがあります。両市の交わりが細く長く続き、こころのきづなが年とともに強くなることをこころから念願してやみません。」（後段略）

小池さんの功績に対しまして敬意を表するとともに、今回のご受章を心からお祝い申し上げます。

ブラジルに親しむ講座

昨年十一月十八日から十二月十日までの間に、六回にわたり、ブラジルに親しむ講座を開設しました。

毎年姉妹都市協会と中津公民館が共催で開設している講座で、六回目をむかえました。講座では第一回からの受講生三名を含む二十五名の皆さんが、日頃聞きなれないポルトガル語に積極的にチャレンジされました。

中でも初回からの受講生の皆さんは、翻訳から会話へと意欲的な勉強をされ、講師から高く評価されました。

講師は前回に引き続き東京都在住の日系二世・三浦マリエ先生にお引き受けいただきました。

三浦先生は、昨年ブラビス・インターナショナル社を退職され、アウル・ブェルデ社（翻訳・通訳）を設立され、現在同社の取締役です。

会話を中心に開催された講座の様子

さて、六回目の今回は、ポルトガル語のほかブラジルの生活、歌、料理等の講座も行いました。六日間の講座は各二時間を予定していましたが、熱心な講師の説明と受講生から数多くの質問がでるなど「もっと時間と期間を長くしてほしい」との意見が多く出ました。また、最終日の料理講座と反省会には、受講生の友人達が集まるなど、賑やかなうちに閉講となりました。

閉講式では「短い期間でしたが、皆さんに大変親しくしていただいたため、毎週東京から中津川へ出掛けることを楽しみにしていました。今回で五回講座に参加させていただきましたが、毎年同じ様な内容になってしまい申し訳ございません。来年以降も是非参加したいと思います。」と三浦先生が述べられたのに対して、受講生からは「大変難しいポルトガル語でしたが、先生のお陰で随分理解できたことを感謝いたします。次回もよろしくお願いします。」とのお礼の言葉がのべられました。

姉妹都市交流事業の一環として実施している講座であり、今後も開講を予定していますので多くの皆さんの参加をお願いいたします。

前レ市長からの手紙

紳士淑女諸君、我がレジストロ市は、再び日本の朋友の訪問を受ける光栄にあずかり、中津川市の高名なる市民を心から歓迎申し上げます。

日本人移民がわが国にもたらした功績は、だれもが認めるものですが、特に日本人の活躍は早くから農村に、そして町にと目覚ましい成果をあげました。

今回のご訪問に際しては、お互いの変わらぬ友情を語り会いたいと存じます。

日本、ブラジル両国の人々の友情を、そして中津川市とレジストロ市を強く結ぶ友情を、我々はこの友情を嬉しく、かつ誇りに思うものであります。

我々の子孫が世界人類平和の価値を常に心の中に思い続けることができるように、この友情が子々孫々まで続かんことを祈ります。

ブラジルと日本、そして中津川市とレジストロ市、この結びつきこそ、輝かしい未来の生活の証です。

この絆こそ後世へ送る何よりも大切な平和の宝であると信じます。

一九八八年五月三十日
エルザ・オルジーニ・デ・カルヴァーリョ

昭和天皇崩御に弔電

日本天皇陛下の御崩御に接し衷心からお悔み申し上げます。皇太子様初め皇族のお方また日本国民のかなしみはいかばかりか、胸の迫る思いがして一杯です。姉妹都市レジストロを代表して日本国民へ心から御冥福を祈り御悔み申し上げます。

一九八九年一月九日　レジストロ市々長ヴァウディール・フェレイラ・デ・モラエス　レジストロ市議会議長近岡健二・マノエル　レジストロ文化体育協会々長山田要彦　レジストロ中津川姉妹都市推進会隅田弘

五十九年ぶりに里帰り

市内千旦林の赤尾栄作さんの実姉野崎つまさん（八十歳）が五十九年ぶりに里帰りをされました。

野崎さんは、昭和四年に渡伯され、現在サンパウロに在住です。今回の来日には三女オリベーラ・ちづ子さん夫妻が同行されました。

十月二十八日小林市長を表敬訪問されましたが、野崎さんは体調を少し崩されたため、ちづ子さんと夫ジャーマン・オリベーラさんが来訪されました。

ジャーマンさんはサンパウロで電信関係の会社に勤務してみえます。

お二人とも来日は始めてのことで、ことにちづ子さんは「母の故郷日本に是非行ってみたいと予てから切望していました」とその感激を語られました。

また、すべての食べ物が大変美味しい事、経済が非常に豊かに感じた事等来日の感想を述べられました。

なお、野崎つまさんは十月二十日来日、そしてちづ子さん御夫妻は十月十三日にそれぞれ来日され、約一ケ月滞在ののち十一月十日帰国の途につかれました。

▶オリベーラ夫妻と小林市長

昭和六十三年度のできごと

●四月十八日　渡伯説明会の開催
●五月十三日　昭和六十三年度理事会開催
●五月二十三日　第二回渡伯説明会の開催
●五月二十八日～六月五日　伯国県人会創立五十周年慶祝使節団渡伯（七名）
●六月六日　渡伯打合せ会の開催
●六月十三日～二十三日　世界ゲートボール大会参加者渡伯（五名）
●六月十六日　慶祝使節団帰国報告会の開催
●七月七日　伯国最高勲章グラン・クルス伝達式（小池前市長受章）
　世界ゲートボール大会参加者帰国報告会の開催
●七月十五日～十六日　第八回岐伯青年親善交流団一行来市（五名）
●七月十八日～八月十五日　岐阜県主催ブラジル実習派遣団として市立阿木高校西尾千秋君が渡伯
●八月二十七日　伯国岐阜県人会々長山田充伸氏が慶祝使節団派遣に対するお礼のため来市
●十月二十八日　サンパウロ在住のオリベーラ夫妻来市（市内千旦林赤尾栄作氏実姉野崎つまさんの三女夫妻）
●十一月二十四日　東京ウニベルツール㈱渡辺氏からレジストロ市新市長就任の連絡が入る。
●二月九日　サンパウロ在住の安楽省三夫妻（昭和六十年日伯親善少年少女交歓使節団員安楽省二君の両親）里帰りの折ホームスティでお世話いただいた市内中村の中田智洋さんとともに来訪
●十一月十八日～十二月十日　第六回ブラジルに親しむ講座開催
●クリスマスカードの発送
●市民相互の文通

元年度会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。

会員は
　個人　一口　壱千円
　法人　一口　壱万円
　団体　一口　五千円
です。

申し込み用紙は、市役所秘書広報課及び各支所と、市内各金融機関の窓口に備えてあります。

この協会の活動を盛り上げ、レジストロ市民との交流の拡大を図るため、一人でも多くの皆さんが加入して下さるようご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、本会について判らないことがありましたら何でもお気軽にお問い合わせください。

（事　務　局）
中津川市役所秘書広報課内
TEL　六六―一一一一
内線三〇七まで